

# 先輩社員に聞く電気工事の魅力



## 當間春輝

田中電気株式会社  
工事部第二課

2012年3月卒業 同年4月入社  
出身校 日本工学院専門学校

### ――就職活動はどのように行っていたのですか？

**當間** 日本工学院のキャリアサポートセンターは、さまざまなキーワードで職種を限定したうえで、該当する企業を選定できるコンピュータシステムが非常に充実しています。

求人会社も非常に豊富ですから、そこから見つけ出す、あるいは日本工学院専門学校主催の企業説明会へ出展する企業から、候補となる電気工事会社を選定していきましました。最終的に20社ほどの電気工事会社を候補として絞り込みましたが、田中電気は先生から紹介していただいたことが大きなきっかけになりました。

### ――入社の決め手となったものを教えてください

**當間** 大手電気工事会社だと、自分の担当する分野が部署ごとに細かく割り当てられ、仕事が限定されてしまいます。その点、この会社はマンション一棟、強電から弱電まですべての電気工事を経験できます。

電気工事を幅広く学ぶことができ、幅広い技術を習得できるのが、やはり中小電気工事会社ならではの魅力だと思います。田中電気はマンション内の電気工事を得意としていますが、面接時にマンションはすべての電気工事の基本であると説明を受けたことも入社するうえでの大きなポイントになりました。

### ――現場代理人として活躍していますが、仕事に就く前に抱いていたイメージとの違いはありますか？

**當間** 現場代理人という職種があること自体、学生時代は全く知りませんでした。ですから現場代理人という仕事に対するイメージもありませんでした。

また、周囲から『電工として経験を踏まないと、現場代理人は務まらない』という指摘も受けました。それでも、常務の田中から『現場代理人にチャレンジしてみないか？』と誘いを受けましたし、田中自身、経験を積み重

ねるなかで複数の現場を同時に抱え、こなしてきたと聞きましたから、『まずは1ヶ月だけ経験させてください』と、現場代理人にチャレンジし、丸3年が経過したことになります。

### ――現場代理人の苦勞、おもしろみはどのような点ですか？

**當間** 大変だなあと思う面は、日々、お得意先である建築会社さんからいただく宿題がそれ相応の内容と量があるので、それをきちんとかなしていくのは大変といえば大変なことです。ですから、拘束される時間は多くなります。でも、現場代理人は、電工さんに比べて年間こなしていく現場数が圧倒的に多く、現場での経験一つひとつがすべて自分自身の成長の糧になるので、仕事を終えるごとに成長できる。それが、この仕事の大きな魅力の一つだと思います。

今では、先輩のサポートを受けながらも2つの現場を任せてもらうまでになりました。実際、自分自身が思い描いたように現場が収まったときや、マンション一棟が竣工した後の達成感には、現場代理人という職種ならではのものがあると思います。

### ――現場代理人になることに、しりごみをしている後輩が少なくないかも知れません。メッセージをお願いします。

**當間** 現場代理人という仕事に向いてる人、向いてない人、というのは基本的にはないと思います。図面が描けて、日々の業務や宿題を淡々とこなし、まじめに取り組んでいくことができるのであれば大丈夫だと思います。

分らないことがあっても、先輩たちが快く教えてくれますし、サポートもしてくれます。何の仕事でもそうかも知れませんが、日々の積み重ねが大事で、特別な要素は必要ありません。要は、本人のやる気次第です。